角川総一の

マーケットSCOPE

マーケットデータの具体的な利用法とは…

▼相互依存関係が強いだけに、対比してみると一目瞭然

数字の絶対値ではなく「変化」こそが重要

編集部から依頼があった。「本連載企画もそろそろ1年近くになるのですが、この欄のすぐ後に掲載してあるデータの具体的な利用法について書いてもらえませんか」と。

そこで今回は、データの具体的な利用法について、書き綴ってみる。

まず、この手のデータを利用する際は、「流れの中で見て、はじめてその意味、内容を表すものである」ことを認識してもらいたい。

これを当たり前のこととしている私にとって、「おかしいな、妙だな」と思うことがままある。例えば、朝、ラジオを聞いていると、「現地6日のニューヨークダウは1万3619ドル89セント。ドル円相場は111円27銭でした」という。読者諸氏は、おかしいと思わないだろうか。

聞き手はニューヨークダウやドル円相場の絶対値を知りたいと思っているのではない。ほとんどの人は「前日に比べてどれだけ上がったか下がったか」という側面から、この情報を待っているのだ。

この原稿を書いている12月7日の午前9時前に、内閣府が今年7～9月期のGDP統計（第二次速報値）を発表した。実質GDPの前期比の伸びは、第一次速報値のプラス2・6％から1・5％に下方修正されている。

これで私たちは、一応「分かった」という。さらに言うなら、「なぜこんなに下がったの？」という疑問に対しては、インターネット上の内閣府発表のデータのうち、「企業設備」が前回の第一次速報値から大幅に下方修正（前期比で1・7％プラスから1・1％プラスへ）されていることを知る。

ともあれ、私たちはGDPの絶対規模が名目で560兆5734億円であるという数字をほとんど必要としない。なぜなら、データの変化こそが重要なのだから。

マーケットを見る場合も同じである。先のラジオ放送でいえば、「ニューヨークダウは前日比174ドル93セント高の」「ドル円は前日比41銭ドル高・円安の」という情報のほうが多くの人にとっては有用なのだ。「データは流れで見る」とは「変化に注目する」ということに他ならない。

日本の10年国債と日本株を対照させると…

ここから実践編である。

まず、多くの人にとって簡単にできる利用法は、「この冊子のデータ表をコピーあるいは切り取って、それを別の台紙に張りつける」である。台紙は大き目の大学ノートを使えばいい。

この場合、欲張って本誌掲載の全データを貼り付けないほうがいい。最初の段階では、いくつかに絞り込んで貼り付けることをお勧めする。全部のデータを管理しようとすると、たいてい失敗する。

一般的にお勧めできるデータのピックアップ方法は、自分の仕事に直接役に立つであろうデータを中心に、取り上げるということだ。

自分が扱っている投資信託のうち、売れ筋のファンドの基準価額に直接的な影響を与えるデータを中心に拾っていくのがいいと思う。例えば、「グローバル・ソブリン・オープン」であれば、「ドル円」「ユーロ円」「米国の10年債」「ドイツ連邦債10年」あたりは必須だろう。さらには、「英ポンド円」「カナダドル円」あたりのデータも取っておいたほうがいい。

次にお勧めしたいのは、表の中の数字を見比べながら、前日比で上がったところと下がったところをマーカーなどを使って区別すること。図表の網をかけてあるところは、前日比で下落したところだ。

その狙いは他でもない。先に「データは流れとして読む」といったが、これをデータの読み方の第一教程だとすれば、第二教程は「他のデータの変化と比較して読む」であるからだ。

言うまでもないが、マーケットデータは、相互依存関係がとても強い。古典的に（かつ教科書的に）言えば、「株価が下がるときには、10年国債利回りも下がることが多い（これは日本も米国も同じ事情にある）」わけだし、最近の例でいうと「米ドルの大幅安が観測されるときにはニューヨークダウも下がっていることが多い」のである。

このことは図表で一目瞭然ではないか。日本株と日本の10年国債を対照させてみると、データチェックが可能な21時点のうち、16時点で以上の因果関係が認められる。あるいは、「ニューヨークダウ下落と米ドル安」「ニューヨークダウ上昇と米ドル高」の因果関係は、全20ポイントのうち16ポイントがそれに該当する。

蛇足かもしれないが、ニューヨークダウと米ドル円相場との関係は、時差の関係から、1マス斜めに見なければならないことに注意してほしい。

例えばニューヨーク現地で5日につけた1万3543ドル（前日比で下げ）の直後に開いた翌6日の日本市場で午前中についたドル円相場が「114円48銭なのだ」。

オリジナルのデータを合わせて利用する

次に、表の一番右端に、その日発表された経済データやこの日起こった重要な出来事、マーケットに影響する可能性が高いイベントなどを記載する。特になければ、新聞に掲載された記事で注目するに値する記事の見出しをメモするだけでもいい。技術的なことだが新聞記事の見出しの後に「E」とあるのは「夕刊に掲載された」という意味だ。もちろん「Evening」の略。

さて、図表では右側に1つの空欄を設けておいた。

ここは、自分がチェックしておきたいオリジナルなデータを記していくために利用することを想定した。グロソブ、ハッピークローバーなどの投資信託の基準価額でもいい。上場銀行に勤めているなら、自分の銀行の株価でもいい。

一見愚直であるように見えるかもしれない。しかし、どんな世界でも、ひとかどの働きをする人は、必ずといっていいほど愚直な作業を日常的に行なっているものである。

やってみると分かるが、結構面白いものである。いざ!!

（12月7日）

●自分だけのマーケット日記を作成してみよう

年月	日	米ドル TTM	ユーロ TTM	英ポンド TTM	円TIBOR 3カ月物	日本国債 16年	米国債 10年	日経平均 円	米国株 NYダウ30	NY原油 バーレル		コメント
2007.11	1	115.55	167.19	107.68	0.504	1.665	4.35	16870.40	13567.87	93.49		
	2	114.70	165.50	105.18	0.508	1.590	4.32	16517.48	13595.10	95.93		日本10年国債1.6%割れ
	5	114.64	166.26	105.41	0.508	1.575	4.34	16268.92	13543.40	93.98		米シティグループが東証1部上場
	6	114.48	165.79	105.58	0.497	1.580	4.37	16249.63	13660.94	96.70		
	7	114.76	167.07	106.96	0.499	1.560	4.31	16096.68	13300.02	96.37		米GM7－9月期で4兆5000億円の最終赤字
	8	112.94	165.43	104.80	0.494	1.540	4.28	15771.57	13266.29	95.46		
	9	112.87	165.87	104.88	0.495	1.525	4.22	15583.42	13042.74	96.32		
	12	110.54	161.85	99.97	0.497	1.515	—	15197.09	12987.55	94.62		米国為替・債券市場はベテランズデー
	13	109.98	160.11	97.32	0.491	1.490	4.26	15126.63	13307.09	91.17		日本7－9月GDP年率2.6%成長
	14	111.28	162.81	100.34	0.507	1.515	4.25	15499.56	13231.01	94.09		浦和がアジアチャンピオンリーグで優勝
	15	111.50	163.31	99.96	0.491	1.495	4.14	15396.30	13110.05	93.43		
	16	110.61	161.82	97.97	0.497	1.470	4.16	15154.61	13176.79	95.10		
	19	111.03	163.04	99.82	0.498	1.465	4.07	15042.56	12958.44	94.64		
	20	110.04	161.35	97.15	0.501	1.465	4.10	15211.52	13010.14	98.03		NY原油が時間外取引で初の99ドル台
	21	109.86	162.85	97.82	0.501	1.420	4.00	14837.66	12799.04	97.29		日経平均今年の最安値
	22	108.60	161.26	94.68	0.499	1.415	—	14888.77	—	—		米国は感謝祭／「ドル安震源、マネー変調」
	23	—	—	—	—	—	4.00	—	12980.88	98.18		日本勤労感謝の日／「満岸各国　ペッグ廃止論活発」
	26	108.71	161.25	95.88	0.500	1.480	3.84	15135.21	12743.44	97.70		「中国政府系ファンド　日本株に投資へ」E
	27	107.36	159.52	93.64	0.496	1.495	3.95	15222.85	12958.44	94.42		米ドルの対円レート今年の最安値
	28	108.51	160.95	95.24	0.500	1.485	4.03	15153.78	13289.45	90.62		NYダウ331ドル高。今年2番目の上げ
	29	110.06	163.21	97.24	0.499	1.485	3.93	15513.74	13311.73	91.01		米FRB議長利下げを示唆
	30	110.15	162.71	97.56	0.520	1.460	3.94	15680.67	13371.72	88.71		日本10月の消費者物価伸び0.1%プラス

＊為替レートは当日午前中に三菱東京UFJ銀行が発表するTTS相場からTTM（銀行間中値）相場を推定したもの